

第 1 総括事項（公益目的事業）

公社は、愛知県内における上下水道施設及び排水施設等社会インフラの適正かつ効率的な運営管理等を行うとともに、そこで得た知識及び技術を社会に積極的に移転、拡大して、県内の環境保全と公衆衛生の向上及び災害の防止を図り、もって地域の健全な発展に寄与することを目的として活動しました。

第 2 庶務に関する事項

1 評議員会及び理事会の開催

開 催 年 月 日 開 催 内 容	審 議 事 項		議 決 内 容
令和 6 年 4 月 1 日 (月) 第 5 7 回理事会 決議の省略による	提案事項 1 提案事項 2 提案事項 3 提案事項 4	理事長の選定について 常務理事の選定について 重要な使用人の選任について 第 4 7 回評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和 6 年 4 月 1 2 日 (金) 第 4 7 回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員及び評議員の報酬額の決定について	原案どおり同意
令和 6 年 4 月 3 0 日 (火) 第 5 8 回理事会 決議の省略による	提案事項	就業規程の一部改正について	原案どおり同意
令和 6 年 5 月 2 9 日 (水) 第 5 9 回理事会	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 報告事項	令和 5 年度事業報告について 令和 5 年度決算について 第 4 8 回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決
令和 6 年 6 月 2 5 日 (火) 第 4 8 回評議員会	第 1 号議案 報告事項	令和 5 年度決算について 令和 5 年度事業報告について	原案どおり承認
令和 6 年 6 月 2 7 日 (木) 第 6 0 回理事会 決議の省略による	提案事項 1 提案事項 2	第 4 9 回評議員会の目的である事項に係る議案について 第 4 9 回評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意
令和 6 年 6 月 3 0 日 (日) 第 4 9 回評議員会 決議の省略による	提案事項	評議員の辞任に伴う補欠選任について	原案どおり同意
令和 6 年 7 月 3 1 日 (水) 第 6 1 回理事会 決議の省略による	提案事項	職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について	原案どおり同意
令和 7 年 1 月 1 6 日 (木) 第 6 2 回理事会 決議の省略による	提案事項	第 5 0 回評議員会の招集について	原案どおり同意
令和 7 年 2 月 1 7 日 (月) 第 5 0 回評議員会	提案事項 1	役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について	原案どおり同意

決議の省略による	提案事項 2	役員の報酬額の改定について	原案どおり同意
令和 7 年 3 月 2 7 日 (木) 第 6 3 回理事会	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 報告事項	令和 7 年度事業計画について 令和 7 年度収支予算並びに資金調達及 び設備投資の見込みについて 就業規程の一部改正について 職員の給与及び旅費に関する規程の一 部改正について 第 5 1 回評議員会の目的である事項に 係る議案(評議員及び理事の補欠選任) について 第 5 1 回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決
令和 7 年 3 月 2 7 日 (木) 第 5 1 回評議員会	第 1 号議案～ 第 3 号議案 第 4 号議案～ 第 5 号議案 報告事項 1 報告事項 2	評議員の辞任に伴う補欠選任について 理事の辞任に伴う補欠選任について 令和 7 年度事業計画について 令和 7 年度収支予算並びに資金調達及 び設備投資の見込みについて	原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決

2 評議員の異動

異動年月日	評 議 員 名	氏 名	摘 要
令和6年4月1日	評 議 員	坂野 宏	就 任
	評 議 員	跡地 操	就 任
	評 議 員	安田 英樹	就 任
	評 議 員	岸岡 宏昌	就 任
	評 議 員	伴野 喜則	就 任
	評 議 員	中村 功一	就 任
	評 議 員	笹尾 拓也	就 任
令和6年6月30日	評 議 員	久保 宜之	辞 任
令和6年7月1日	評 議 員	秋葉 雅章	就 任
令和7年3月31日	評 議 員	木和田治伸	辞 任
	評 議 員	中村 功一	辞 任
	評 議 員	田中 統	辞 任

3 理事の異動

異動年月日	役 員 名	氏 名	摘 要
令和6年4月1日	理 事	鈴木 希明	就 任
	理 事	榎本 訓康	就 任
	理 事	塚原 康仁	就 任
	理 事	川村 哲弘	就 任
	理 事	西村 忠寿	就 任
	理 事	黒宮 康博	就 任
	理 事	藤戸 聡	辞 任
令和7年3月31日	理 事	加藤 清史	辞 任
	理 事	黒宮 康博	辞 任

4 監査の実施

実施年月日等	事 項	摘要
毎 月	例 月 監 査	監事 菅沼 利元
四 半 期	四 半 期 監 査	監事 菅沼 利元 倉本 繁八
令和6年5月24日	令和5年度事業報告について 令和5年度決算報告について	監事 菅沼 利元 倉本 繁八

第3 令和6年度事業実績の概要

1 下水道部の事業

(1) 流域下水道施設に関する技術等を活用した事業

ア 流域下水道運営管理

愛知県が設置した豊川始め 11 流域下水道について、指定管理者として、適正に運営管理事業を実施しました。今年度業務の特出すべき事項を次に掲げます。

〔特出すべき事項〕

(ア) 放流水の栄養塩類管理運転

「水質保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」として、緩和された総量規制基準のもと、豊川及び矢作川の 2 浄化センターにおいて、令和 6 年 9 月 1 日から管理運転を実施しています。なお、日光川下流浄化センターにおいても、社会実験と同期間で管理運転を実施しています。

(イ) 汚泥の安定的な処理処分

焼却炉等の汚泥減量化施設（管理外施設を含む）の故障に伴う処理停止に対応するため、有効利用量の上乗せ及び施設能力の余力の確保等の方策を計画し、適切に汚泥処理を実施しています。

(ウ) 組織のアセットマネジメントシステム

組織のマネジメントシステムの有効性を確認するため、ISO 55001 規格の認証済み範囲を対象として認証機関の継続審査を受け、認証機関から有効性が認められました。

令和6年度流入水量（計画及び実績）

浄化センター	流入水量（千m ³ /年）	
	計画量	実績量
豊川浄化センター	29,500	※ 31,565
五条川左岸浄化センター	27,333	27,103
境川浄化センター	63,202	61,348
衣浦西部浄化センター	22,087	20,857
矢作川浄化センター	87,230	85,281
衣浦東部浄化センター	9,955	10,364
日光川上流浄化センター	15,394	15,619
五条川右岸浄化センター	10,688	10,566
新川東部浄化センター	4,593	4,494
日光川下流浄化センター	8,370	8,308
新川西部浄化センター	1,560	1,470
合 計	279,912	276,975

※：R5 6/2 の大雨により一部計測点が水没し、以降流量データが欠測したため、昨年同様放流流量を採用し、流入水量とした。

イ 汚水及び汚泥の処理方法の調査研究

効率的な維持管理やコスト縮減のため、次に掲げる調査研究を行いました。

- ・スクリーンプレス脱水機への汚泥供給に関する調査
- ・送風機可変圧力制御による電力削減の可能性に関する調査

(2) 下水道に関する技術及び知識の普及・啓発、技術支援事業

ア 下水道知識等の普及啓発活動

県民に下水道に関する理解と関心を深めてもらい、下水道の適正利用を促すため、次に掲げる普及啓発活動を行いました。

時期	実施場所	イベント	啓発対象者(参加者数)
年間	各浄化センター	処理場見学	主に小学生(5,047名)
7, 8月	各浄化センター	夏休み親子下水道教室	小学生と保護者(461名)
7月	東海学園大学	特別講義	東海学園大学学生(135名)
年間	小学校	下水道出前講座(県への協力)	小学生(13校 873名)
年間	県内各所	普及啓発イベント(県への協力)	イベント等来場者

イ 下水道科学館の運営管理

下水道の普及啓発を行うため、指定管理者として、アクティオ（株）との共同体にて、愛知県下水道科学館（メタウォーター下水道科学館あいち）の運営管理業務を実施しました。

項目	来場者数	来館団体数	利用者満足度
目標	90,000人以上	400団体以上	80点以上
実績	93,974人	413団体	89点

ウ 下水道研究報告会・下水道技術講習会の開催等

県内自治体等の下水道関係者の知識向上のために、次に掲げる講習会等の開催及び研修への講師派遣を行いました。

時期	実施事項	対象者及び対象地域 (参加者等)
7月18日	下水道研究報告会 県講演1件、県発表1件 県内自治体発表2件 公社発表3件	県内自治体等の下水道関係者 (117名)

1 2 月 3 日	下水道技術講習会 「下水汚泥の肥料化～新しい公定規格「菌体りん酸肥料」の取組紹介～」 (公財)日本下水道新技術機構 研究第一部 副部長 後藤 雅子 氏 「ウォーターPPPの導入に向けて」 (公社)全国上下水道コンサルタント協会中部支部 技術研修委員会 長谷川 孝 氏	県内自治体等の下水道関係者 (97 名)
1 0 月 2 9 日	下水道技術研修会 水処理、汚泥処理の仕組み 事業所排水と処理場排水規制	流域関連県内自治体等の下水道関係職員 (33 名)
6, 1 1 月 令和 7 年 1 月	技術技能研修への講師派遣 (中部地方下水道協会主催)	中部地方下水道協会会員ほか (講師 6 名派遣)

エ 自治体下水道事業への技術支援事業

県内自治体の抱える課題を解決するため、次に掲げる業務を受託し、技術的な支援を行いました。

業務名	委託者	業務内容
矢作川流域下水道事業の内工事監督支援 業務委託（機械・電気設備工事）	愛知県	県発注機械、電気設備工事の監督支援
合流改善水質検査業務	刈谷市	合流改善調査に伴う水質試験
東海総合事務所管内における維持管理に係る技術援助業務等支援・協力業務委託	日本下水道事業団	日本下水道事業団が行う県内自治体（東海市、尾張旭市、田原市、長久手市）への技術援助の支援協力

2 水道緑地部の事業

(1) 水道施設等運営管理事業

県営水道用水供給事業の施設及び工業用水道事業の水源及び水道施設に関連する業務を実施しました。

ア 機器点検・測定業務

浄水場等の水質計器、無停電電源装置及び電食防止設備の点検・測定を実施しました。

	設 備	内 訳	設 置 施 設
点検 (1,366 台)	水 質 計 器 (480 台)	濁度計 115 台、PH 計 143 台 残塩計 137 台、その他 85 台	高蔵寺浄水場 始め 68 施設
	無停電電源装置 (470 台)	充電装置 205 台、蓄電池 204 台 インバータ 61 台	高蔵寺浄水場 始め 141 施設
	電 食 防 止 設 備 (416 基)	整流器 343 基、排流器 26 基 ボンド 47 基	管路 1,006km
測定	電 食 防 止 設 備 (2,887 箇所)	管対地電位 2,662 箇所 陽極発生電流 225 箇所	

イ 佐布里水源の森関連業務

佐布里池周辺の樹木管理等の環境整備を実施しました。

業 務 内 容	数 量	内 訳
草刈・寄植剪定・伐竹	156,409 m ²	草刈 148,896 m ² 、寄植剪定 4,108 m ² 伐竹 3,405 m ²
樹木剪定・植栽撤去	240 本	樹木剪定 240 本、植栽撤去 0 本
希少植物保全管理	1 式	
ダム周辺清掃	1 式	
水の生活館受付・清掃	1 式	

(2) 排水機場等運営管理事業

日光川排水機場始め6排水機場及び日光川水閘門の、運転操作及び点検整備の業務を実施しました。

区 分		増水運転 操作回数		増水運転 時間	管理運転 操作回数	
日光川排水機場		506 回	33 回	130 時間	172 回	34 回
日光川河口排水機場			19 回	65 時間		24 回
蟹江川排水機場			101 回	210 時間		17 回
筏川排水機場			338 回	1, 143 時間		0 回
西中野排水機場			8 回	6 時間		52 回
尾西排水機場			7 回	7 時間		45 回
日光川 水閘門	水 門	2, 014 回	378 回			
	閘 門		1, 636 回			

(3) 上記の(1)、(2)の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

ア 水道知識の普及

市町水道職員等への水道知識の普及を目的とした、講演会及び研修を開催しました。

催 行	開催日	内 容	参加者	
講演会	6 月 6 日	「水道第四世代の創生」 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 熊谷 和哉氏	市町の水道職員等 139 名	
	8 月 2 日	「能登半島地震から考える南海トラフ地震対策」 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授 平山 修久氏	市町の水道職員等 117 名	
電気防食 研修	11 月 20 日	電気防食等についての講義、施設点検見学及び実習	県企業庁の職員 7 名	
水道技術 基礎研修	10 月 23 日	水道一般、市町における各種取組、水質管理及び水処理、ダクタイル鋳鉄管による管路耐震化、漏水についての講義	市町若手 水道職員	44 名
	10 月 24 日	ダクタイル鋳鉄管の接合及び企業庁管路研修施設等での実習		

イ 水道に関する啓発

水の大切さや水源保全について理解と関心を深めていただく目的で、県等関係機関と連携して、啓発活動を行いました。なお、10月の水源保全PR活動については、主催者の判断により開催されておりません。

イベント名	実施日	実施場所	啓発対象者
水道週間等 PR 活動	R6.5.3、5.29～5.31	県内 5 箇所	来場者及び通勤・通学客
水源保全 PR 活動	R6.10【未開催】	豊田市	清掃活動に参加した地域住民
佐布里池梅まつり	R7.3.1	知多市	水の生活館来館者等

ウ 水害に関する啓発

排水機場等の見学者、視察者に対し、排水機場及び水閘門が果たす役割や水害に対する意識を高めていただくために、県が実施する啓発活動に協力しました。(66 団体，見学者数 717 人)